

麻 醉 科

【実習の到達目標】

- (1) 周術期の患者管理の基本を習得する。
- (2) 呼吸と気道確保の基本を習得する。
- (3) 麻酔科関連診療分野との医療連携について知見を深める。

【実習内容】

毎朝7:30に手術部カンファレンスルーム(外来棟4階手術センター内)に集合。

【注意】

初日の午前は実習のオリエンテーションを行う(休日の場合は翌日)。
 終日見学の担当症例の割り振りは火曜日に行う。
 服装は白衣、ネクタイを着用のこと。
 スニーカー、サンダル、下駄、ジーパン、茶髪、ピアス等は不可。
 無断欠席、遅刻をした場合は評価点は0点とする。
 手術室内では清潔・不潔の区別に特に注意し、実習指導医の指示を守ること。
 手術室内では不用意な言動を慎むなど、言動に注意すること。
 ポートフォリオは毎日記載し、実習最終日にコピーを提出すること。
 患者個人が特定できる医療情報は決してUSBメモリーなど記憶媒体に保存しないこと。

【実習予定】

		月	火	水	木	金
午前	集合時間	7:30	7:30	7:20	7:30	7:30
	実習内容	概要説明	手術室実習	手術室実習 (症例担当*)	ICU/PCA**	ICU/PCA**
	担当	讃岐美智義	佐伯 昇		近藤隆志/田口志麻	加藤貴大/山田智子
集合時間	13:00	13:00	13:00		13:30	
午後	実習内容	術前評価	気道確保実習	手術室実習 (症例担当*)	ペインクリニック	症例発表 総括* (1名ずつ)
	担当	仁井内 浩	中村隆治		濱田 宏	河本昌志・濱田 宏

*手術室実習は前日には症例が割り当てられるので、麻酔申込書や診察用紙で予習しておくこと。

**ICU,PCAは班の中でふたつに分かれて実習する(木曜日ICU、金曜日PCAまたは木曜日PCA、金曜日ICU)。

●実習症例に関しては金曜日夜の総括(当日ハンコポイントにまこめし)と頭先衣袋、空廻りの唯口まこめ(必着)にレポートの提出を求める。

疑問占け担当麻酔科医に問い合わせて解決しておくこと

●祭日、休日がある場合は適宜予定を変更する。月曜日が休日の場合は火曜日に概要説明をする。

【実習評価】

以下の要領でレポートを作成し、E-mailに添付して提出すること。

送付先連絡先: masuika@hiroshima-u.ac.jp (レポート提出以外の欠席等の連絡も)

・レポート記載要項・

以下の内容を参考に作成し、翌週の最初の週日(月曜まで)に提出すること。
(月曜日必着、休日であっても)

1. 実習の総括を踏まえて担当症例の概要をレポートする。麻酔記録を必要とする場合は、患者名やIDなどの個人情報記載しない。レポート作成に使用した資料はシュレッダーで廃棄すること。

2. レポートの提出方法

MSワードで、A4版・10ポイント活字を使用した文書ファイルを作成して上記アドレスにE-mail添付で送る

3. 記載事項の例

1. 学生氏名, 学生番号, 担当麻酔科医, 麻酔指導医(患者の個人情報, 日時の記載は不可)

術前

2. 予定手術術式, 施行術式

3. 術前ASAクラス分類: その理由(リスクファクター等)

4. 既往歴

5. 理学所見

6. 術前検査の異常とその意義

7. 術前の麻酔科的問題点: あれば箇条書き

8. 術前の麻酔管理計画と注意点

術中

9. 実際に行った麻酔管理の詳細

[9-1] 麻酔導入の方法と使用薬

- [9-2]併用した局所麻酔法
- [9-3]気道確保の方法,種類,器具
- [9-4]人工呼吸器の設定条件
- [9-5]静脈確保の方法,部位,使用機材
- [9-6]装着モニターの種類
- [9-7]手術中の問題点とその理由
- [9-8]麻酔覚醒時の患者の状態変化
- [9-9]術中の体液バランス(尿量, 輸液量, 出血)
- [9-10]術中体温の推移
- 術後
- [9-11]回復室の所見と検査所見
- [9-12]術後指示の内容と鎮痛対策
- 10.この症例経験の教訓, 修得した技術(必須)
- 11.麻酔科実習の感想(必須)

4. 評価方法

出席点(40点)と教員による個別評点(40点)の80点満点で評価する.

これに総括での発表・質疑応答の評価(10点)とレポート評価点(10点)を加えて点数化する.

- 遅刻や欠席を連絡する場合は下記メールアドレス宛に連絡すること.